

DVD貸出一覧表

令和5年10月1日現在

公益社団法人鹿児島県労働基準協会

NO	品 名	時間
1	職場で行う腰痛予防体操 腰痛予防に欠かせないのが職場で行う予防体操。立ったまま、あるいは椅子などを利用して行う2本建てで体操のモデルを紹介。職場のどこでもできるもので、その具体的なノウハウを解説。	12分
2	知っていますか 安全配慮義務 過重労働や精神的ストレスが引き金になっての、うつ病や自殺など、「心の衛生面」が争点となった民事訴訟が急増。損害賠償額の高額化傾向とともに社会問題化している。このビデオは実際の事例をモデルにドラマ化。過重労働・うつ病・管理者の対応・裁判の判決をケーススタディしつつ、「安全配慮義務」の考え方・実践の基本を、キャスターが分かりやすく解説。	26分
3	誰もが危険 熱中症の新常識 熱中症は高温多湿な環境で発生する健康障害で、重篤な場合、死に至ることも稀ではない。気温と湿度が上昇する季節は、熱中症の危険も高まる。このビデオでは、新しく解明された熱中症発生の要因を詳しく解説。最高気温よりもWBGT値の活用等最新の予防法をわかりやすく紹介する。 [小冊子「誰もが危険 熱中症の新常識」(村山貢司、堀江正知監修 A5判・16頁)1冊つき]	22分
4	みんなでリスクアセスメント ～アセスメント徹底演習～ ロール作業現場をカメラで実写した画像を用い、リスクアセスメントの各手順をみんなで演習しながら、そのプロセスの節目ごとに専門家が解説する。リスクアセスメントに参加する各層の方々にとって進め方の理解を深める絶好の研修ビデオ。	24分
5	みんなで取り組むメンタルヘルス メンタルヘルスの1次予防として、ストレスの源となる好ましくない職場環境を職場ぐるみで改善することが効果的であると、その取り組みが始まっている。このビデオでは、中災防が重点的に取り組んでいる「メンタルヘルス対策に活かす職場環境改善」について解説するとともに、先進企業の取り組み事例を紹介。	24分
6	腰痛 その予防と対処法 さまざまな作業において腰痛予防のポイントとなる「作業方法」「作業姿勢・動作」などを実写映像で紹介するとともに、予防対策として重要な「作業環境の改善」や「リスクアセスメント」なども解説。さらに、実際に腰痛が起きたときの「実践的な対処法」、予防のための「腰痛予防体操」「ストレッチング」「生活習慣」なども紹介。	20分
7	職長・作業リーダーのための 改訂 作業手順書作成マニュアル (リスクアセスメント対応版) よい品質の製品を安全に効率よく生産するためには、作業手順を決めて、みんなで守ることが大切。このビデオでは、現場の職長や職場のリーダーのために作業に活かせる作業手順書の作り方について、分かりやすく解説。また、手順ごとのリスクアセスメントの実施方法についても説明。	20分
8	安全衛生診断のすすめ ～中小企業篇～ 従業員の安全衛生に対して無関心だった中小規模事業場の経営者が、安全衛生の専門家に初めて「安全衛生診断」を依頼するまでの経緯、「安全衛生診断」の実施内容から安全衛生の必要性を自覚するまでをドラマ化。	20分
9	新入社員の安全と健康 新入社員向けの教材です。職場生活の心構えのほか安全のルール、ミーティング、危険予知、保護具、整理整頓など安全衛生の基本をわかりやすく解説。 「新入者安全衛生テキスト」(中災防発行)の内容に準拠し、安全と健康の大切さに気づいてもらえるよう制作。	22分

NO	品 名	時間
10	ゼロ災のこころ ～危険を予知する人づくり～ ゼロ災運動の提唱者で、安全運動の推進に心を砕く田辺肇氏の講演ビデオ。「危険の側から安全を考える」「職場のマナーと安全」「ルールを守る職場づくり」など、5つのテーマで「ゼロ災のこころ」を説く。	26分
11	～安全健康職場づくりのキメ手～ 活き生きミーティング 職場ミーティングをひと工夫すれば、安全もコミュニケーションもよくなる。このビデオは、現在ゼロ災運動職場で効果を上げている「始業時ミーティング」をモデルに制作。ミーティングの効果を上げるためのポイントをクローズアップし、分かりやすく解説。	18分
12	VDT作業の正しい進め方 ～IT時代の健康心得～ 17年ぶりに新しくなった厚生労働省の衛生管理の仕方を紹介すると同時に、作業者にとって適切な照明、採光のしかた、作業姿勢の調整、日常点検などに重点を置いて、正しい作業の進め方を具体的に分かりやすく解説。	22分
13	リスクアセスメントとは ～リスク編～ グローバルスタンダードでは、安全は「許容できるリスク」とされている。リスクアセスメントは「リスクはゼロにならない」とうことを念頭に入れて行う必要がある。 <新入者教育に使えます>	10分
14	リスクアセスメントとは ～アセスメント編～ KYは現場の活動、リスクアセスメントは管理活動。必ず存在するリスクをシステムにのせて適切に管理するのが安全の鍵。 <管理者入門教育に使えます>	10分
15	不注意は起こる！「〇〇に注意」は安全指示とは言えない 人間の注意力には限界があります。注意力に限界がある人間に対し、「作業中、ずっと安全に注意を払い続けなさい」は無理です。「不注意」をテーマに、不注意による死亡災害が多発していること、なぜ人間は安全に対して不注意になるのか、事例と具体的な対応策などについて実写とアニメで紹介するとともにクイズ形式でどれだけ人は注意力があるのか解説します。	16分
16	これだけは知っておきたい 建設作業の基本ベスト10 繰り返し発生している災害の要因となっている設備や機械・工具などを10項目に絞り込み、それぞれの作業について事前に知っておくべきポイントを解説。新規入場者教育に職長・安全衛生責任者の能力向上教育に最適。もちろん、建設現場で働くすべての作業員にも大切な基本ルールが身につけられます。	20分
17	新版 新規入場時教育 入場初日を甘く見るな 高所から墜落した阿部作業員は救急病院に運ばれ、大腿骨複雑骨折の重傷で休業6か月と診断されました。本作品では、なぜこのような災害が発生したのか、災害前日から時間を遡って検証していきます。事前に説明や現場の案内があったのにも関わらず、人は誰でもわかりきっていることを軽くみ、面倒なことを省略しようとしがちです。しかし、災害から自分を守ることでできるのは、あなた自身しかいません。新規入場時教育がいかに大切かを入場初日に起きた災害を通して訴えます。	15分
18	災害事例に学ぶ 建設工具・器具の正しい使い方 今まで起きた災害事例を参考にしながら、建設工具・器具の正しい使い方について学んでいきます。 ■携帯用丸のこ盤 ■ディスクグラインダ ■充電式インパクトドライバ ■エンジンカッター ■ブレーカ	17分

NO	品 名	時間
19	建設現場で働く皆さん これだけは守ろう 基本ルール17カ条 繰り返し災害をなくすために 災害再発防止のためには、設備面の対策が有効です。しかし、日々刻々と作業内容が変わる建設現場では、何から何まで設備面の対策を行うことは難しいのが現状です。そこで、建設現場で働く皆さんが、安全の基本ルールを守り、不安全行動を起こさないことがとても重要になります。安全の基本ルールを守ることの重要性、「繰り返し災害」防止のため、守るべき基本ルールには何があるのか？安全の基本ルールを守ることは利益向上にもつながる！これらについて解説します。 ●高所からの墜落災害防止 ●荷上げ・荷下ろし作業による災害防止 ●重機によるはさまれ・巻き込まれ災害防止 ●決められた作業手順は必ず守る ●飛来落下災害・土砂崩壊災害・転倒災害防止 ●あなたの身を守る保護具は正しく装着する	23分
20	メンタルヘルス 職場を元気にするコミュニケーション 昨今、メンタルヘルス対応は深刻な社会問題となっており、企業においても産業医制度や復職支援などの取り組みが定着しつつあります。しかし、心の病気は再発率が50%を超えるともいわれており、現在中心になっている、発症してしまっからの対処法(治療)では根本的な解決ができていないといえます。 また、「ストレス(心の病気の引き金となり得るストレス要因)を取り除いて予防する」ことは、目まぐるしく変わる現代の社会・経済状況では、難しいといえるでしょう。 そこで、「職場には様々なストレスがあつて当たり前」という前提のもと、そうしたストレスにうまく対処する力を高めるという考え方があります。それが、SOCという力です。 本教材では、「SOCを高める」という視点から、ストレスに強い人づくり、上司と部下とのコミュニケーションや元気の職場の仕組みづくりの具体的な方法を紹介しています。	57分
21	職場のパフォーマンスを高める「メンタルヘルスケア」実践のポイント 本DVDでは、従来からの医学的視点および遵法の視点からメンタルヘルスをとらえるだけでなく、日常のマネジメントの中で、部下のパフォーマンス発揮という視点から掘り下げ、具体的なメンタルヘルス対応を考えていきます。 仕事がきちんとこなせる状況にあるか、顧客対応は大丈夫かなど、部下のコンディションやパフォーマンスを日々の職場生活の中で確認しながら、メンタルヘルスにどのように対応していくかを管理監督者に学んでいただきます。 ①メンタルヘルスの必要性と基本的な考え方②職場のコミュニケーションと部下のコンディション③不調者の早期発見・早期対応④不調者の休職中・職場復帰への対応⑤管理監督者のセルフケア	58分
22	ストレスチェック制度対応 セルフケアからはじめるメンタルヘルス・マネジメント 1巻 チェックしよう！あなたのストレス～心とからだのセルフケア～ 平成27年、企業におけるストレスチェック制度が義務化。ストレスチェック制度の主な目的は、労働者自身がストレスに気づき、メンタルヘルス不調を予防することです。労働者一人ひとりが自分のストレスの状態を知ること、つまりセルフケアがこれからの企業におけるメンタルヘルス対策では重要になってきます。 本DVDは、事例ドラマと解説を通して労働者自身がストレスへの向き合い方を学ぶものです。高ストレス状態に陥らないための一助として、ストレスチェック実施にあわせて、ぜひご活用ください。 ●セルフケア自己チェックのための3項目 1. 職場のストレス 2. 周囲のサポート 3. 心身の自覚症状 ●セルフケア自己チェックのポイント [ケース1]石田さん[46歳]の場合 本人も気づかないうちにストレスをため込み倒れる [ケース2]杉本さん[41歳]の場合 上司と部下の板挟みで「うつ」に	28分
23	ストレスチェック制度対応 セルフケアからはじめるメンタルヘルス・マネジメント 2巻 チェックしよう！ラインによるケア～見逃すな！部下のイエローサイン～ (1)職場環境の把握と改善 (2)不調者の早期発見と処置 ●部下のメンタルヘルスチェックのポイント [ケース1]杉本課長の場合 長時間残業の結果、部下が倒れてしまった [ケース2]石田課長の場合 様子がおかしい部下を抱え込んでしまった	29分

NO	品 名	時間
24	<p>メンタルヘルス・ケア実践のための職場のストレスマネジメント 1巻 管理監督者の役割</p> <p>過労自殺、生産性の低下、労災など……働く人の心の健康は、本人や家族の幸せを左右するだけでなく、今や企業経営においても重要なリスクマネジメントの一つとなってきました。そんな中で、職場の責任者である管理監督者が、部下に対してどのような心のケアをすればよいのか、働きやすい職場づくりにどう取り組んでいけばよいのか、大きな課題となりつつあります。本DVDでは、管理監督者の《ストレスマネジメント》の考え方・手法をわかりやすく紹介しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メンタルヘルス・ケアの意義 (1)従業員の健康・生命を守る <li style="padding-left: 2em;">(2)生産的で活気ある職場づくり <li style="padding-left: 2em;">(3)職場のリスクマネジメント ●管理監督者の役割 ●部下への相談対応 ●職場環境等の改善 ほか 	25分
25	<p>メンタルヘルス・ケア実践のための職場のストレスマネジメント 2巻 部下の心をひらく相談対応のノウハウ</p> <p>あるメーカーの設計部の課長と新製品開発に抜擢された部下の事例を通して、部下への相談対応の仕方・ポイントを具体的に考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●問題に気づく ●声をかける ●産業医に相談する ●専門医への受診をすすめる ●専門医との連携 ●部下への相談対応のポイント ほか 	25分
26	<p>安衛則改正 フルハーネス型安全帯 ココがポイントだ</p> <p>安衛則改正により、2019年2月1日以降はフルハーネス型安全帯を使用する作業員に特別教育が義務化されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ安衛則改正するのか ・胴ベルトとハーネス型安全帯 ・改正点のポイント ・特別教育カリキュラムの概要 	30分
27	<p>“危険軽視”によるヒューマンエラー</p> <p>現場では、危険軽視による災害が後を絶ちません。毎日作業を続けるうちに、慣れにより安易な気持ちで危険な作業をしたり、作業に潜むリスクを過小に評価したりして、労働災害が発生しています。</p> <p>本DVDでは、「危険軽視」をテーマに危険軽視による死亡災害が多発していること、心理学から学ぶ災害事例、危険軽視対策について解説していきます。</p>	22分
28	<p>転倒防止 簡単ストレッチ～毎日1分でからだが変わる～</p> <p>転倒は、近年最も多く発生している労働災害です。高齢化などが進む中、作業員の身体機能・感覚の衰えなどからわずかな段差や平坦なところでの“滑る”なども少なく、なかなか災害は減りません。この作品では、段差を超えようとして思ったほど足が上がっていないで段差に突っかかり転倒する、ちょっとしたことでバランスを崩して転ぶなどの日常起こる転倒災害を防ぐための「自然な体の動きを取り戻すストレッチ」を紹介します。</p> <p>朝礼、休憩時間などの短い時間でだれでもどこでも簡単にでき、すぐに効果を実感できます。 *ダブルT立ち方シート付</p>	15分
29	<p>熱中症は必ず防げる～管理と機器・保護具を上手に活用～</p> <p>このビデオは、職場の熱中症予防対策として事前の作業計画、作業管理、環境管理などの基本的な対策を解説し、あわせて、暑熱職場や屋外の作業で熱中症から身を守るための、水分・ナトリウムの補給のポイント、熱中症対策用作業服・保護具・機器、送風・冷却設備、断熱装備の効果的な正しい使い方や注意点など現場で採用し、実践できる方法を映像で紹介します。</p>	17分

NO	品 名	時間
30	<p>働く人の睡眠と健康 全2巻</p> <p>これまでの産業保健では注目度の高くなかった「睡眠」。しかし生活習慣病対策には、「食事」「運動」の指導に加えて、「睡眠」指導が不可欠です。睡眠時間が短かすぎると食欲亢進から肥満になりやすく、高血圧や糖尿病、抑うつ状態の数値も悪化することが分かっています。他に、見過ごせない睡眠障害、睡眠と労働生産性の関係などにも言及した画期的な睡眠教育教材です。</p> <p>第1巻 あなたの睡眠、足りていますか？～睡眠不足と睡眠障害～ ○睡眠不足症候群 ○睡眠のメカニズム ○労働生産性と睡眠 ○睡眠不足と生活習慣病、メンタルヘルス不調との関係 ○睡眠時無呼吸症候群 ○レストレスレッグス症候群(むずむず脚症候群)</p> <p>第2巻 快眠習慣のための10の方法～ぐっすり眠りたい、よりよく眠りたい～ ○不眠症 ○必要な睡眠時間 ○起床時間のコントロール ○運動、入浴と深部体温 ○就寝前に避けるべきこと ○カフェイン、ニコチン、アルコールの影響 ○自分なりのリラックス法 ○眠れる環境づくり ○睡眠薬についての正しい知識 ○眠れないときの対処法 ○交代勤務者への対応</p>	24分 24分
31	<p>ワークライフバランスシリーズ 働き方改革とカップルの子育て</p> <p>女性社員の両立支援と男性の育休取得を促進する研修用動画 家事育児は女性の仕事という思い込みが、女性の活躍、男性の働き方改革を阻害しています。「働き方改革」問題の第一人者が監修し、カップルの双方が活躍するためのヒントを提供する教材です。 ■ケース1 共働きカップルの場合 ■ケース2 専業主婦の場合</p>	40分
32	<p>ガス溶接・溶断作業と安全</p> <p>作業者の技能教育や再教育に必見！！ ガス溶接・溶断作業は、製造業、建設業、サービス業など産業現場で広く行われています。使用する可燃性ガス等の基本的知識、各装置の構造・取扱い方法、火災・爆発などの災害事例と防止対策まで、ガス溶接・溶断作業従事者が身に付けていなければならない技術の習得と安全作業のポイントを映像化し、わかりやすく解説します。 技能講習の教材として、また、ガス溶接・溶断作業従事者の能力向上教育にも活用できます。</p>	26分
33	<p>リニューアル・指差呼称〈全2巻〉</p> <p>今やヒューマンエラーを防ぐ決め手である指差呼称は、製造業だけでなくサービス業(流通、銀行、病院等)にも広がっている。そこで当社では旧作当時とは異なる産業界の状況を踏まえ、新たに指差呼称をリニューアル。「指差呼称で防げ 職場のヒューマンエラー」ではサービス業、「指差呼称してますか ～定着化のポイント～」では製造業に焦点をあて解説している。</p> <p>第1巻 指差呼称で防げ 職場のヒューマンエラー 第2巻 指差呼称してますか ～定着化のポイント～</p>	20分 16分
34	<p>心肺蘇生法とAEDの実技 ～いざという時のために～ ガイドライン 2015年対応(改訂Ⅱ版)</p> <p>心肺停止状態の傷病者の生命を救うには1秒でも早く適切な救命手当を施すことが必要です。職場のだれもが心肺蘇生法とAEDの実技を身につけておきましょう。</p> <p>○周囲の安全の観察 全身の観察 意識の確認 ○協力者の要請(119番通報・AEDの手配) ○心肺蘇生法の実技(解説)AEDの使い方(解説) ○心肺蘇生法の実技(実演)AEDの実技(実演)</p>	22分

NO	品 名	時間
35	<p>高齢労働者の典型的な労働災害を学ぼう －エイジフレンドリーな安全対策－ 高齢労働者を理解し災害の原因を学ぶ！ 本DVDでは、「エイジフレンドリー（高齢者の特徴を踏まえた）職場をつくる」をテーマに高齢者の主な労働災害事例を紹介しながら、その原因として、加齢による心身機能の低下がどのように関わっているのか、さらに、どうすれば労働災害を防ぐことができるのかについて解説します。</p>	25分
36	<p>職長の能力向上のポイント －新たな時代の職長の役割－ 職長・安全衛生責任者が果たすべき重要な役割を学ぶ！ 本DVDは、職長・安全衛生責任者能力向上教育カリキュラムに基づき、労働災害防止を図る上で職長等が身につけておくべき「作業員に対する教え方の5原則」や伝達力を向上させる話し方、さらにリスクアセスメントの実施能力を向上させるポイントなどについて分かりやすく解説するとともに、タブレットを使った安全ミーティングや現地KY活動でのポイントなどを学んでいきます。</p>	25分